

# 一般社団法人日本真空学会 平成28年度 総会のお知らせ

平成28年度総会を下記により開催します。万障お繰り合わせのうえご出席下さい。  
ご欠席の場合は同封の委任状にご署名のうえ、事務局までお送り下さい。

## 記

日 時 平成28年3月9日（水）午後1時30分から  
場 所 機械振興会館 地下3階 研修2号室（東京都港区芝公園3丁目5番8号）  
一般社団法人日本真空学会 電話 03-3431-4395

## 議 題

1. 第1議案 平成27年度事業報告の件
2. 第2議案 平成27年度決算報告の件
3. 第3議案 平成28年度事業計画（案）の件
4. 第4議案 会計（事業）年度変更の件
5. 第5議案 平成28年度予算（案）の件
6. 第6議案 役員変更の件
7. その他

以上

## 第1議案

### 平成27年度事業報告

自 平成27年1月1日  
至 平成27年12月31日

#### (1) 会員異動

##### 1) 個人会員

26. 12. 31 現在 722名（うち学生会員 154名）  
入 会 68名（ ” 34名）  
退 会 107名（ ” 48名）  
27. 12. 31 現在 683名（うち学生会員 140名）

##### 2) 法人会員

口数	26.12.31 現在		27.12.31 現在			
	会員数	口数	会員数	年間会員数増減	口数	年間口数増減
9	1	9	1	0	9	0
8	0	0	0	0	0	0
7	0	0	0	0	0	0
6	2	12	2	0	12	0
5	5	25	5	0	25	0
4	0	0	0	0	0	0
3	3	9	3	0	9	0
2	2	4	2	0	4	0
1	114	114	109	{ +1 △6	109	△5
計	127	173	122	△5	168	△5

##### 3) 特別会員

26. 12. 31 現在 56口  
入 会 1口  
退 会 3口  
27. 12. 31 現在 54口

(2) 総 会 1回（3月11日開催）

(3) 理事会等

- 理事会 4回
- 協議員会 1回
- 日本真空工業会理事会へ派遣 4回

(4) 委員会

- 事業計画委員会 3回
- 財務委員会 4回
- 教育委員会 5回
- 編集委員会 6回
- 講演・研究会企画委員会 6回
- 産学連携委員会（幹事会） 4回
- 規格・標準委員会 5回
- 広報委員会（Web更新打合） 1回
- 国際委員会（メール審議） 7回
- 真空技術者資格認定委員会（日本真空工業会と合同） 3回

(5) 部会

- スパッタリングおよびプラズマプロセス技術部会（幹事会） 5回
- 機能薄膜部会 2回
- 真空技術調査部会 4回

(6) 会議等

- 日本表面科学会とのトップ会合 2回
- 日本真空工業会とのトップ会合 1回
- 表彰審査会 1回
- 顕彰審査会 1回
- 規格標準合同検討委員会（日本真空工業会と合同） 5回
- アウトガス国際標準化ワーキング 1回
- 圧力標準ワーキング 3回
- 真空ポンプワーキング 1回

- ISO 総会派遣 1回
- 真空技術者試験委員会 7回 (臨時開催1回を含む)
- 統合検討ワーキング 2回  
報告：公益社団法人日本表面科学会との対等な立場での発展的統合の一つの選択肢として意見交換と議論を行った。その検討を踏まえ、理事会において「両学会を発展的に統合し、新たな学会を創成する可能性に向けた検討に入る」ことが了承され、現状の事業を継承しつつ、学会活動の更なる活性化や会員サービスの向上、収支の健全化が図れるような形態を目指した検討と協議を開始することとなった。また、具体的な検討は、将来検討ワーキンググループにメンバーを加えた統合検討ワーキンググループにおいて行い、協議開始に伴う覚書を両学会長名で締結することになった。
- 真空・表面統合検討合同ワーキング 2回
- 事務局運営会議 3回
- 第56回真空に関する連合講演会  
合同実行委員会 4回  
プログラム委員会 1回  
合同プログラム委員会 2回  
展示委員会 1回
- 第37回「VACUUM2015真空展」ワーキング 1回
- 真空シンポジウム企画グループ会議 1回
- ISSP2015国際会議実行委員会 3回
- IVC-22招致委員会 1回
- IUVSTA 理事会 (ECM) へ派遣 1回

(7) 事業

- 1) 機関誌「Journal of the Vacuum Society of Japan」 12回発行
- 小特集  
1号「半導体表面における極薄膜形成プロセス(1)」  
2号「半導体表面における極薄膜形成プロセス(2)」  
3号「真空プロセスで創る有機デバイス研究・開発の最前線」  
4号「第55回真空に関する連合講演会論文集(1)」  
5号「第55回真空に関する連合講演会論文集(2)」  
6号「摩擦を制御するための表面処理技術」  
7号「省エネポンプ」「ターボ分子ポンプの最新動向」  
8号「真空基礎講座2015」「VACUUM2015真空展」  
9号「暮らしに役立つ真空技術」  
10号「リチウムイメージングー電池開発の最前線で活躍する分布解析技術」  
11号「表面の親水性・撥水性とその物理・化学」  
12号 小特集なし
- 2) 2015年真空・表面合同講演会 (第56回真空に関する連合講演会) (日本表面科学会と合同で開催) 12月1日～3日 (つくば国際会議場)  
参加者：637名  
講演構成：430件  
• 基調講演：2件

- 真空学会受賞記念講演：4件
- 表面科学会学会賞講演：2件
- 合同国際シンポジウム2015～先端ナノ計測の最近の進展～：9件

2015 International Joint Symposium on Recent Progress of Advanced Nanocharacterization

- 合同シンポジウム「新規低次元材料の形成と素子応用」：5件
- 合同シンポジウム「パワーデバイスにおけるワイドギャップ半導体の最前線」：6件
- 合同シンポジウム「アジアの最先端加速器と将来展望」：5件

Joint Symposium “Cutting-Edge Accelerators in Asia and Their Future Perspectives”

- 合同シンポジウム「デバイス動作下・化学反応環境下での表面分析：オペランド観測の最先端」：5件
- オーガナイズドセッション「限界に挑む真空ナノエレクトロニクスの現状と展望」：8件
- 合同口頭発表 (4セッション)：40件 (招待講演4件を含む)
- 真空口頭発表 (4セッション)：32件 (特別講演5件を含む)
- 表面口頭発表 (21セッション)：172件 (招待講演7件・依頼講演30件などを含む)
- 真空ポスター発表：47件
- 表面ポスター発表：93件
- 企業展示：71小間 (真空41社41小間、表面29社30小間)
- 企業プレゼン：11社

関連行事：

- スクールコース「表面科学研究のための超高真空技術」  
12月3日 (つくば国際会議場) 21名参加
- 第6回真空・表面科学若手研究会  
12月4日 (物質・材料研究機構) 招待講演6件、ポスター発表20件、46名参加
- 3) 第55回真空夏季大学  
• 9月1日～4日 (ヤマハリゾートつま恋) 111名参加  
• 9月4日 真空応用技術講座 (ヤマハリゾートつま恋) 38名参加  
「プロセスプラズマの基礎」22名参加  
「真空システム」16名参加
- 4) 第52回真空技術基礎講習会  
• 5月24日～27日 (大阪府立産業技術総合研究所) 28名参加
- 5) 真空技術者資格認定試験 (第13回) 10月3日  
東京：機械振興会館、大阪：大阪科学技術センター  
受験者数 1級119名、2級132名  
合格者数 1級43名、2級60名  
真空主任技術者認定 5名
- 6) 第13回スパッタリングおよびプラズマプロセス国際シンポジウム ISSP2015

The 13<sup>th</sup> International Symposium on Sputtering and Plasma Processes, ISSP2015

7月8日～10日（京都市リサーチパーク）213名参加（日本を含み19カ国，海外82名）

- 招待講演11件，一般口頭発表25件，ポスター発表102件 合計138件
- ポスター賞3件授与
- 企業展示17社

7) 顕彰・表彰：授与式 12月2日（つくば国際会議場）

顕彰

- 第2回学会賞 顕彰者：中山勝矢
- 第2回学会賞 顕彰者：金原 繁
- 第3回真空の匠  
業績：「極高真空計，極高真空分圧計，極高真空材料，極高真空ポンプの開発」  
顕彰者：渡辺文夫
- 第3回真空の匠  
業績：「超高真空技術と光学技術を高度に組み合わせた装置開発への貢献」  
顕彰者：北野實
- 第3回真空の匠  
業績：「超高真空装置開発と超高真空技術普及への貢献」  
顕彰者：亀井真悟
- 第2回フェロー 顕彰者：笠井秀明
- 第2回フェロー 顕彰者：木村健二
- 第2回フェロー 顕彰者：末次祐介
- 第2回フェロー 顕彰者：土佐正弘
- 第2回フェロー 顕彰者：福谷克之

表彰

- 第40回熊谷記念真空科学論文賞 該当者なし
- 第40回真空技術賞  
業績：大気圧走査電子顕微鏡の開発  
受賞者：大南祐介
- 第24回真空進歩賞  
業績：プラズマプロセスにおける異常放電検出システムの開発  
受賞者：笠嶋悠司
- 第4回真空会誌賞  
業績：[随想] うたかたの記(1)―(7)  
[講座] 電子ストレージング真空系ハードウェア(1)―(2)  
―うたかたの記 番外編―
  1. J. Vac. Soc. Jpn., 56巻3号 (2013) 111-114
  2. J. Vac. Soc. Jpn., 56巻5号 (2013) 191-194
  3. J. Vac. Soc. Jpn., 56巻7号 (2013) 284-289
  4. J. Vac. Soc. Jpn., 56巻9号 (2013) 389-394
  5. J. Vac. Soc. Jpn., 56巻12号 (2013) 513-519
  6. J. Vac. Soc. Jpn., 57巻2号 (2014) 71-77
  7. J. Vac. Soc. Jpn., 57巻6号 (2014) 239-246
  8. J. Vac. Soc. Jpn., 57巻7号 (2014) 285-293
  9. J. Vac. Soc. Jpn., 57巻12号 (2014) 461-465

受賞者：小林正典

- 第4回真空会誌賞  
業績：[解説]「スピン偏極低エネルギー電子顕微鏡」  
受賞者：越川孝範・鈴木雅彦・安江常夫・

E. Bauer・中西 彊・金 秀光・竹田美和

- 8) 第37回「VACUUM2015真空展」（日本真空工業会と共催）9月8日～10日（パシフィコ横浜）  
開催規模：71社・団体 177小間，来場者数：15,708名  
日本真空学会企画事業
  - 大学・公的研究機関における真空科学・技術・応用の最先端研究紹介 28件
  - 9月8日 規格標準報告会「コンダクタンスとバルブ，真空技術に関する規格の紹介」46名参加
  - 9月8日 超高真空技術講座「ディスプレイ・半導体産業，成膜，表面分析に役立つ超高真空技術」31名参加
  - 9月9日 超高真空技術講座「ディスプレイ・半導体産業，成膜，表面分析に役立つ超高真空技術」42名参加
  - 9月8日 学生ツアー 16名参加（8大学）
  - 9月10日 真空シンポジウム「新世代産業と真空」57名参加
- 9) 研究例会
  - 1月23日「表面の親水性・撥水性とその物理・化学」（日本表面科学会と合同）46名参加（機械振興会館）
  - 6月9日「低真空・中真空計測の最新動向」85名参加（機械振興会館）
  - 11月17日「プラズマ励起プロセスを用いた表面改質の基礎と応用」（ポスターセッション併設）22名参加（広島工業大学広島校舎）
  - 12月16日「カーボン系新材料研究の現状と展望」23名参加（機械振興会館）
- 10) 産学連携委員会例会
  - 1月20日 38名参加（機械振興会館）
    1. タッチパネルの最新動向
    2. GaN系発光デバイスの現状と展望
  - 3月17日 35名参加（機械振興会館）
    1. イオンプレーティング成膜装置”開発の歴史と販売への取り組み
    2. イオンビームを用いた薄膜形成と表面改質
  - 5月21日 25名参加（機械振興会館）
    1. 入江工研株式会社の会社紹介及びJ-PARC・JT-60SAに納入した製品について
    2. 重力波検出を目指して―大型低温重力波望遠鏡KAGRAの現状―
  - 7月17日 見学会 28名参加  
訪問先：(1)J-PARCセンター（大強度陽子加速器施設）  
(2)国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 那珂核融合研究所
  - 9月10日 57名参加（パシフィコ横浜）  
第16回真空シンポジウム「新世代産業と真空」

1. 重力波観測用干渉計 KAGRA の建設
  2. 高真空中で生きたまま濡れたままの生物を電子顕微鏡観察する NanoSuit® 法
  3. 真空の未来と人と環境に優しいビジネスへの展開
- 11) SP 部会 定例研究会, 技術講習会, 勉強会, 技術交流会
- 3月9日「第142回定例研究会：反応性スパッタで作製した窒化物のデバイス応用」27名参加（機械振興会館）
  - 6月3日「第143回定例研究会：アクアイノベーション～最も身近な物質に最先端のサイエンスで挑む～」35名参加（信州大学長野（工学）キャンパス）
  - 8月26日「第144回定例研究会：HIPIMS の最近の技術動向」38名参加（機械振興会館）
  - 10月14日「第145回定例研究会：ディスプレイ, 太陽電池用薄膜プロセスの最新技術と量産への応用」37名参加（機械振興会館）
  - 11月13日「第1回勉強会：パルススパッタリングプラズマ再訪—パルスと HiPIMS プラズマの理解へ向けて—」15名参加（金沢工業大学東京事務所）
  - 12月8日「第146回定例研究会」「第12回技術交流会」31名参加（機械振興会館）
  - 12月18日「平成27年度技術講習会：生産・開発現場のためのスパッタリング法～基礎から, ターゲット品質, パーティクル発生の抑制, そして薄膜応力の制御まで～」23名参加（機械振興会館）
- 12) 機能薄膜部会
- 1月30日「ナノ構造機能創成専門部会 第2回研究会」  
テーマ：薄膜ナノ構造制御と機能性の創成 17名参加（オミクロン ナノテクノロジー ジャパン(株) セミナールーム）
  - 5月19日「ナノ・キャラクターゼーション専門部会 第4回研究会」  
テーマ：膜の密着 29名参加（東陽テクニカ テクノロジーインターフェースセンター）
  - 6月23日「ナノ構造機能創成専門部会 第3回研究会」  
テーマ：薄膜ナノ構造制御と機能性の創成 21名参加（東京工業大学）
  - 10月23日「ナノ・キャラクターゼーション専門部会 第5回研究会」  
テーマ：微小領域の機械特性について（ポスターセッション併設）23名参加（東陽テクニカ 本社）
  - 12月15日「ナノ構造機能創成専門部会 第4回研究会」  
テーマ：薄膜ナノ構造制御と機能性の創成 27名参加（東京工芸大学 中野キャンパス）
- 13) 出張真空技術講座
- 3月2日 19名参加（入江工研(株)）
  - 6月10日 47名参加（(株)トヤマ）
- 14) 真空技術演習講座
- 9月25日 36名参加（機械振興会館）
- 15) 第62回応用物理学春季学術講演会シンポジウムの実施
- 3月11日「斜め蒸着法, GLAD, STF 等, シェドウイングによるナノ形態の制御と評価」（東海大学 湘南キャンパス）
- 16) 他学協会・団体等からの依頼
- 協賛 52回, 後援 1回
- (8) 支部
- 1) 関西支部
    - ① 総会 1回
    - ② 役員会 5回
    - ③ 講演会 2回
      - 1月16日 2015年度第1回講演会  
「窒化物半導体の現状と将来展望」  
「AlGaN 系半導体を用いた深紫外 LED の開発」  
41名参加（島津製作所関西支社マルチホール）
      - 10月28日 2015年度第2回講演会（日本真空工業会関西支部との合同開催）  
「磁気記録技術とスピントロニクスデバイス—3次元磁気記録の実現に向けて—」  
「海の底の話～地球を知る～」60名参加（ホテル大阪ベイタワー）
    - ④ 研究会 1回
      - 6月13日 九州表面・真空研究会2015（日本表面科学会関西支部, 応用物理学会九州支部と共催）67名参加（九州工業大学戸畑キャンパス）  
「新奇な薄膜・表面現象とその応用の最前線」  
特別講演：3件
        1. ペロブスカイト太陽電池の高効率化と電荷注入界面の構造
        2. 二次元合金の創製とヒューム・ロザリー則
        3. 超高真空中での SiC 上への Si<sub>4</sub>O<sub>5</sub>N<sub>3</sub> 層の作製と電界放出 LEED 装置の開発
 一般講演：16件
    - ⑤ 講習会 2回
      - 5月19日～22日 第51回真空技術基礎講習会（日本真空工業会関西支部, 大阪府技術協会との共催）  
28名参加（大阪府立産業技術総合研究所）
      - 8月19日～20日 第7回役に立つ真空技術入門講座  
29名参加（大阪電気通信大学駅前キャンパス）
    - ⑥ セミナー 2回
      - 7月3日 日本真空学会関西支部&日本表面科学会関西支部合同セミナー2015（日本表面科学会関西支部との合同開催）  
「半導体デバイスの明日を担う新規材料開発の現状と展望」  
83名参加（大阪大学豊中キャンパス 大阪大学会館）
      - 12月7日 第8回日本真空学会関西支部 実用技術セミナー2015  
「暮らしに役立つ電子ビーム技術」42名参加（島津

製作所関西支社マルチホール)

2) 東海支部

① 総会 1回

② 支部役員会 4回

③ 講演会

- 4月25日 日本表面科学会中部支部・日本真空学会  
東海支部 合同講演会  
27名参加 (名古屋工業大学)

④ 研究会

- 3月4日「ながれを見る・読み解く」  
24名参加 (名古屋工業大学)  
協賛：応用物理学会東海支部，日本表面科学会中部  
支部
- 7月24日「大型真空装置の極み・シンクロトロン光  
の利用技術」  
32名参加 (あいちシンクロトロン光センター)  
協賛：応用物理学会東海支部，日本表面科学会中部  
支部
- 11月13日「持続可能社会構築のための大型真空装置  
による基礎物理の解明とエネルギー応用」  
31名参加 (核融合科学研究所)  
協賛：応用物理学会東海支部，日本表面科学会中部  
支部

⑤ 講習会

- 4月8日，4月15日 第2回 真空技術 超 入門講座  
60名，88名参加 (名古屋大学，名古屋工業大学)  
協賛：応用物理学会東海支部，日本表面科学会中部  
支部，日本真空工業会
- 4月15日 スクールコース「表面・薄膜研究，産業  
利用のための超高真空技術」  
35名参加 (名古屋工業大学)
- 6月24日 真空技術 超 入門講座 in 豊橋  
34名参加 (豊橋技術科学大学 ベンチャー・ビジネ  
ス・ラボラトリー)  
協賛：応用物理学会東海支部，日本表面科学会中部  
支部，日本真空工業会，豊橋技術科学大学 ベンチ  
ャー・ビジネス・ラボラトリー

平成27年度会計報告

貸借対照表

平成27年12月31日 現在

(単位：円)

科 目	金 額		増 △減
	H.26.12.31	H.27.12.31	
借方の部			
現金・預金	42,760,554	43,850,332	1,089,778
現金	( 19,992)	( 175,471)	( 155,479)
普通預金	(42,740,562)	(43,674,861)	( 934,299)
未収金	885,600	2,138,733	1,253,133
敷金	2,247,800	2,247,800	0
前払金	1,021,663	21,460	△1,000,203
仮払金	1,210	661,069	659,859
退職給付引当資産	3,080,000	2,355,000	△725,000
国際会議積立資産	500,000	500,000	0
合 計	50,496,827	51,774,394	1,277,567
貸方の部			
未払金	1,404,091	2,878,818	1,474,727
預り金	7,574,736	7,902,740	328,004
退職給付引当金	3,080,000	2,355,000	△725,000
国際会議積立金	500,000	500,000	0
基金	39,172,254	39,172,254	0
次月繰越金	△1,234,254	△1,034,418	199,836
合 計	50,496,827	51,774,394	1,277,567

収支計算書

自 平成27年1月1日

至 平成27年12月31日

(単位：円)

収 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
前期より繰越	△1,234,254	管 理 費	12,138,547
会費収入	14,244,848	運 営 費	45,461,683
事業収入	43,003,384	次 期 繰 越	△1,034,418
雑収入	497,834		
寄付金	54,000		
計	56,565,812	計	56,565,812

予算・決算対照表

[収入の部]

(単位：円)

科 目	H27年度予算	H27.1.1～ H27.12.31現在	予算残
前期より繰越	△1,234,254	△1,234,254	0
会 費 収 入	14,559,380	14,244,848	314,532
個人会員会費	5,153,000	5,065,000	88,000
学生会員会費	188,000	148,000	40,000
法人会員会費	8,450,000	8,450,000	0
特別会員会費	688,380	571,848	116,532
法人会員入会金	80,000	10,000	70,000
事 業 収 入	45,198,450	43,003,384	2,195,066
研究例会参加費	250,000	346,750	△96,750
真空夏季大学 参加費	8,000,000	9,222,000	△1,222,000
真空応用技術 講座参加費	420,000	638,000	△218,000
広 告 費	8,400,000	7,564,320	835,680
連合講演会等 参加費	4,620,000	5,103,306	△483,306
産学連携 委員会収入	194,000	248,000	△54,000
関西支部事業収入	720,000	657,000	63,000
東海支部事業収入	110,000	106,500	3,500
SP部会会費収入	1,980,000	1,886,000	94,000
SP部会事業収入	630,000	610,000	20,000
機能薄膜部会 会費収入	500,000	200,000	300,000
機能薄膜部会 参加費	120,000	105,000	15,000
ISSP 事業収入	8,816,150	8,941,000	△124,850
真空技術者 認定試験	3,600,000	3,170,000	430,000
関西基礎講習会	2,265,000	1,689,280	575,720
教育委員会 講習会参加費	300,000	710,640	△410,640
会誌収入	2,373,300	1,805,588	567,712
購読料	( 625,000)	( 568,253)	( 56,747)
別刷代	( 1,300,000)	( 1,016,529)	( 283,471)
冊子代	( 246,000)	( 91,206)	( 154,794)
投稿料	( 202,300)	( 129,600)	( 72,700)
名簿収入	1,900,000	0	1,900,000
雑 収 入	208,000	497,834	△289,834
受取利息	8,000	8,557	△557
補助金	0	294,833	△294,833
雑収入	200,000	194,444	5,556
寄 付 金	0	54,000	△54,000
今 期 計	59,965,830	57,800,066	2,165,764
合 計 (前期繰越+今期計)	58,731,576	56,565,812	2,165,764

## [支出の部]

(単位：円)

科 目	H27年度予算	H27.1.1～ H27.12.31現在	予算残
管 理 費	13,990,000	12,138,547	1,851,453
給 与	5,700,000	3,946,041	1,753,959
退職給与引当金	400,000	400,000	0
通 勤 費	250,000	243,210	6,790
福 利 厚 生 費	1,525,000	1,081,274	443,726
事 務 所 費	2,990,000	3,078,721	△88,721
旅 費 交 通 費	60,000	807	59,193
通 信 費	380,000	345,740	34,260
事 務 消 耗 品 費	5,000	0	5,000
事 務 雑 費	800,000	853,943	△53,943
事 務 機 器 リース 費	980,000	884,500	95,500
総 会 費	200,000	244,929	△44,929
理 事 会 費	700,000	1,059,382	△359,382
運 営 費	46,091,600	45,461,683	629,917
委員会運営費	6,516,000	5,660,889	855,111
事業計画委員会	( 593,000)	( 659,104)	( △66,104)
財務委員会	( 8,000)	( 8,160)	( △160)
教育委員会	( 423,000)	( 156,863)	( 266,137)
編集委員会	( 263,000)	( 330,420)	( △67,420)
講演・研究会	( 224,000)	( 148,493)	( 75,507)
企画委員会	( 630,000)	( 609,314)	( 20,686)
産学連携委員会	( 573,000)	( 382,809)	( 190,191)
規格・標準委員会	( 94,000)	( 22,100)	( 71,900)
国際委員会	( 794,000)	( 323,624)	( 470,376)
真空技術者資格認定委員会	( 1,974,000)	( 2,080,002)	( △106,002)
資格試験事務経費	( 940,000)	( 940,000)	( 0)
関西支部	1,400,000	1,383,361	16,639
東海支部	321,000	193,627	127,373
S P 部 会	2,453,000	2,391,045	61,955
定例会・幹事会運営費	( 1,814,000)	( 1,665,173)	( 148,827)
技術講習会	( 141,000)	( 228,693)	( △87,693)
勉強会	( 28,000)	( 27,179)	( 821)
事務経費	( 470,000)	( 470,000)	( 0)
機能薄膜部会	582,000	281,435	300,565
真空技術調査部会	282,000	57,192	224,808
I S S P 運 営 費	8,151,000	8,525,906	△374,906
ISSP 事務経費	282,000	275,900	6,100
研究例会運営費	413,000	461,426	△48,426
連合講演会運営費	3,183,000	3,198,428	△15,428
真空夏季大学運営費	6,486,000	7,520,872	△1,034,872
真空夏季大学事務経費	1,410,000	1,410,000	0
真空応用技術講座運営費	0	0	0
関西基礎講習会	2,129,000	2,320,479	△191,479

科 目	H27年度予算	H27.1.1～ H27.12.31現在	予算残
教育委員会講習会運営費	282,000	353,583	△71,583
真空・表面会若手研究会	0	145,735	△145,735
表彰関係費	350,000	397,644	△47,644
顕彰関係費	100,000	175,473	△75,473
会誌発行費	6,634,000	6,141,027	492,973
印刷費	( 5,542,000)	( 5,144,271)	( 397,729)
送 料	( 1,092,000)	( 996,756)	( 95,244)
編集・広報業務委託費	3,105,600	3,107,159	△1,559
J-STAGE利用料	50,000	33,156	16,844
H P 作 成 費	600,000	745,200	△145,200
名簿出版費	720,000	51,332	668,668
真空展ワーキング	42,000	74,915	△32,915
国際会議派遣費	0	0	0
管理費(租税公課)	600,000	555,899	44,101
雑 損 失	0	0	0
計	60,081,600	57,600,230	2,481,370
次 期 繰 越	△1,350,024	△1,034,418	—
合 計	58,731,576	56,565,812	2,165,764

以上の通り報告いたします。

平成28年 1月28日

会 長 齊 藤 芳 男

監査の結果、適正に処理されていることを認めました。

平成28年 1月28日

監 事 浦 野 智 秋

監 事 田 中 正 俊

### 第3 議案

#### 平成28年度 事業計画 (案)

- (1) 総会 2回
  - (2) 理事会等
    - ・理事会 5回
    - ・協議委員会 1回
    - ・日本真空工業会理事会へ派遣 5回
  - (3) 委員会
    - ・事業計画委員会 4回
    - ・財務委員会 4回
    - ・教育委員会 5回
    - ・編集委員会 6回
    - ・講演・研究会企画委員会 6回
    - ・産学連携委員会(幹事会) 4回
    - ・規格・標準委員会 6回
    - ・広報委員会 2回
    - ・国際委員会 2回
    - ・真空技術者資格認定委員会 3回(日本真空工業会と合同)
  - (4) 部会等
    - ・スパッタリングおよびプラズマプロセス技術部会 5回
    - ・機能薄膜部会  
ナノキャラクタリゼーション専門部会 2回  
ナノ構造機能創成専門部会 2回
    - ・真空技術調査部会 4回
  - (5) 会議等
    - ・顕彰審査会 2回
    - ・表彰審査会 2回
    - ・規格標準合同検討委員会(日本真空工業会と合同) 5回
    - ・低圧力真空計ワーキング 3回
    - ・真空ポンプワーキング 2回
    - ・アウトガス国際標準化ワーキング 1回
    - ・ISO 派遣 1回
    - ・第57回真空に関する連合講演会 実行委員会 4回
    - ・第38回 VACUUM 2016真空展 ワーキング 3回
    - ・ISSP2017国際会議実行委員会 4回
    - ・真空技術者試験委員会 6回
    - ・統合検討ワーキング 4回
    - ・真空・表面統合検討合同ワーキング 2回
    - ・事務局運営会議 1回
    - ・IUVSTA 派遣 1回
  - (6) 事業
    - 1) 機関誌「Journal of the Vacuum Society of Japan」発行 12回
    - 2) 2016年真空・表面科学合同講演会(第57回真空に関する連合講演会) 11月29日～12月1日(名古屋国際会議場, 日本表面科学会との合同開催)
      - ・併設 展示会(日本表面科学会と合同で開催)
    - 3) 第56回真空夏季大学 8月30日～9月2日(ヤマハリゾートつま恋)
      - ・併設 真空応用技術講座(2講座)
  - 4) 第52回真空技術基礎講習会 5月24日～27日(大阪府立産業技術総合研究所)  
(日本真空工業会関西支部, 大阪府技術協会との合同開催)
  - 5) 真空技術者資格認定試験(日本真空工業会と共催)
    - ・真空主任技術者認定
    - ・1級・2級真空技術者 試験日:10月8日  
(東京:機械振興会館, 大阪:大阪科学技術センター)
  - 6) 顕彰・表彰
    - ・第3回学会賞
    - ・第4回真空の匠
    - ・第4回フェロー
    - ・第41回熊谷記念真空科学論文賞
    - ・第41回真空技術賞
    - ・第25回真空進歩賞
    - ・第5回真空会誌賞
    - ・優秀ポスター賞
    - ・SP部会賞
  - 7) 第38回 VACUUM 2016真空展 9月7日～9日(パシフィコ横浜)  
(日本真空工業会と共催)
    - ・規格標準報告会  
日本真空学会企画
    - ・大学・公的研究機関における真空科学・技術・応用の最先端研究紹介
    - ・第17回真空シンポジウム
    - ・スクールコース「超高真空技術講座」
    - ・応用技術講座「成膜技術講座」
    - ・学生ツアー
  - 8) 研究例会 4回(うち1回東京地区以外で開催)
  - 9) 産学連携委員会例会 6回(うち, 真空シンポジウム1回, 見学会 2回)
  - 10) SP部会 定例会 5回(うち技術交流会 1回), 技術講習会 1回, 勉強会 1回
  - 11) 機能薄膜部会  
ナノキャラクタリゼーション専門部会 研究会 2回  
ナノ構造機能創成専門部会 研究会 2回
  - 12) 真空技術調査部会 セミナー・研究会 1回
  - 13) 第63回応用物理学春季学術講演会シンポジウム 1回  
3月20日
  - 14) 出張真空技術講座 1回
  - 15) 真空技術演習講座 1回
  - 16) 営業職・文系のための真空技術講座 1回
  - 17) 真空・表面科学若手研究会 1回
- (7) 支部
    - ①関西支部
      - ・総会 1回
      - ・役員会 5回
      - ・研究会 1回

研究例会「九州真空・表面研究会」(応用物理学会九州支部, 日本表面科学会関西支部との合同開催) 6月11日

- 講演会 2回  
2016年度第1回講演会 1月19日  
2016年度第2回講演会(日本真空工業会関西支部との合同開催) 10月26日
- 講習会 2回  
第52回真空技術基礎講習会 1回 5月24日~27日  
(日本真空工業会関西支部, 大阪府技術協会との合同開催)
- 第8回役に立つ真空技術入門講座 1回 8月24日~25日
- セミナー 2回  
日本表面科学会関西支部との合同セミナー 7月4日  
第9回関西支部実用技術セミナー 12月

#### ②東海支部

- 総会 1回
- 役員会 3回
- 講演会 1回  
2016年度日本表面科学会中部支部・日本真空学会東海支部合同講演会 4月
- 研究会 3回  
2016年度第1回研究例会 2月  
2016年度第2回研究例会 7月  
2016年度第3回研究例会 11月
- 講習会 1回  
真空技術超入門講座 4月

#### 第4議案

### 会計(事業)年度変更

学会の運営をより円滑に行うために, 会計(事業)年度を現在の「毎年1月1日に始まり, 12月31日に終わる。」より「毎年4月1日に始まり, 翌年3月31日に終わる。」へ変更します。

会計(事業)年度変更に伴い, 次のとおり定款の改定を行います。

#### 第7章 資産及び会計 (事業年度)

【現定款】第32条 この法人の事業年度は, 毎年1月1日に始まり, 12月31日に終わる。

【改訂案】第32条 この法人の事業年度は, 毎年4月1日に始まり, 翌年3月31日に終わる。

第5議案

平成28年度前期予算(案)(28年度 1-3 予算案)

収支予算書

自 平成28年1月1日

至 平成28年3月31日

(単位：円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前期より繰越	△1,034,418	管理費	4,050,000
会費収入	3,561,212	運営費	4,949,440
事業収入	2,774,000	次期繰越	△3,698,646
雑収入	0		
計	5,300,794	計	5,300,794

注：本平成28年度（前期）収支予算書は平成28年度「総会第4議案：会計（事業）年度変更」に伴い平成28年1月1日より3月31日迄を平成28年度（前期）と定め予算案とした。会費収入及び管理費の各予算金額は平成27年度予算を基に12ヶ月分の3ヶ月として計上した。

[収入の部]

(単位：円)

科目	28年度 1-3 予算案
前期より繰越	△1,034,418
会費収入	3,561,212
個人会員会費	1,266,250
学生会員会費	37,000
法人会員会費	2,112,500
特別会員会費	142,962
法人会員入会金	2,500
事業収入	2,774,000
研究例会参加費	0
真空夏季大学参加費	0
真空応用技術講座参加費	0
広告費	2,000,000
連合講演会参加費等	0
産学連携委員会収入	90,000
関西支部事業収入	60,000
東海支部事業収入	36,000
SP部会会費収入	0
SP部会事業収入	60,000
機能薄膜部会会費収入	28,000
機能薄膜部会参加費	0
ISSP事業収入	0
真空技術者認定試験	0
関西基礎講習会	0
教育委員会講習会参加費	0
会誌収入	500,000
購読料	( 200,000)
別刷代	( 250,000)
冊子代	( 30,000)
投稿料	( 20,000)
名簿収入	0
雑収入	0
受取利息	0
補助金	0
雑収入(規格, DVD売上等)	0
今期計	6,335,212
合計(前期繰越+今期計)	5,300,794

[支出の部]

(単位：円)

科 目	28年度 1-3 予算案
管 理 費	4,050,000
給 与	1,240,000
退 職 給 与 引 当 金	0
通 勤 費	71,000
福 利 厚 生 費	440,000
事 務 所 費	770,000
旅 費 交 通 費	0
通 信 費	121,000
事 務 消 耗 品 費	0
事 務 雑 費	350,000
事 務 機 器 リ ー ス 費	250,000
総 会 費	210,000
理 事 会 費	598,000
運 営 費	4,949,440
委 員 会 運 営 費	957,440
事 業 計 画 委 員 会	( 120,000)
財 務 委 員 会	( 8,000)
教 育 委 員 会	( 40,000)
編 集 委 員 会	( 30,000)
講 演・研 究 会 企 画 委 員 会	( 38,220)
産 学 連 携 委 員 会	( 244,000)
規 格・標 準 委 員 会	( 50,000)
広 報 委 員 会	( 0)
国 際 委 員 会	( 320,000)
真 空 技 術 者 資 格 認 定 委 員 会	( 107,220)
資 格 試 験 事 務 経 費	( 0)
関 西 支 部	266,000
東 海 支 部	76,000
S P 部 会	250,000
定 例 会・幹 事 会 運 営 費	( 250,000)
技 術 講 習 会	( 0)
勉 強 会	( 0)
事 務 経 費	( 0)
機 能 薄 膜 部 会	178,000
真 空 技 術 調 査 部 会	17,000
I S S P 運 営 費	240,000
I S S P 事 務 経 費	0
研 究 例 会 運 営 費	56,000
連 合 講 演 会 運 営 費	0
真 空 夏 季 大 学 運 営 費	0
真 空 夏 季 大 学 事 務 経 費	0
真 空 応 用 技 術 講 座 運 営 費	0
関 西 基 礎 講 習 会	0
教 育 委 員 会 講 習 会 運 営 費	0
真 空・表 面 若 手 研 究 会	0
表 彰 関 係 費	0
顕 彰 関 係 費	0
会 誌 発 行 費	1,629,000
印 刷 費	( 1,380,000)
送 料	( 249,000)
編 集・広 報 業 務 委 託 費	780,000
J-STAGE 利 用 料	0
H P 作 成 費	0
名 簿 出 版 費	0
真 空 展 ワ ー キ ン グ	0
国 際 会 議 派 遣 費	0
管 理 費 (租 税 公 課)	500,000
計	8,999,440
次 期 繰 越 金	△3,698,646
合 計	5,300,794

## 第 6 議案

## 一般社団法人 日本真空学会 役員変更

辞任役員

1. 佐々木 正洋 (筑波大学)

新任理事候補者

1. 荒川 一郎 (学習院大学)